

「ちょうちょ」

校長先生の姿見えていますか？

先週の校長室前のボード、どうやって気分転換しますかという質問にもたくさんのお友だちが返事を書いてくれました。ありがとうございます。やはり、ゲームをするというのが多かったでしょうか。映画をみる、ごはんを食べる、ジュースを飲むなんていうのもありました。

みなさんが、それぞれに気分転換の方法を持っていることに、安心しました。

さて、今日で令和2年度の敷津小学校の授業は終わりとなります。もちろん、敷津小学校がつぶれるわけではなく、春休みをはさんで、また4月から学年がひとつ上がって新しいスタートとなります。

みなさんにとって、令和2年度はどんな1年間でしたか？

臨時休校にはじまり、学校は6月1日から始まったものの、遠足や自然体験教室は中止、プールも5、6年生だけの実施となりました。しかし、みなさんは本当によくがんばったとほめたいと思います。なぜなら、3ヶ月も授業を行わなかったのに、毎日一生懸命勉強がんばったおかげで、その遅れを十分取り戻すことができたからです。すばらしいがんばりだと思います。

2学期からは、少しずつ行事も再開始めました。校外学習や社会見学、運動会のかわりに体育参観を行いました。6年生は修学旅行や卒業遠足にもいきました。

しかし、まだまだ新型コロナウイルスがなくなっただけではありません。これからも気を抜かず、勉強に行事にがんばってほしいと思います。

それでは、みなさんにとって今年1年はどんな1年間でしたか？少しまわりの人と、今年1年を振り返って、どんな思い出が残っているかを聞き

合ってみましょう。

どんな思い出がありましたか？それらを胸にしまって、新学年でもがんばっていきましょう。

そして、いよいよ明日から春休みですが、休みだからといって、いいかげんな生活や、遊びまわっていてはだめですよ。春休みは、校長先生は「力をたくわえる時期」だと思っています。

みなさん、チョウチョは知っていますよね。もうすぐ春になって温かくなると、モンシロチョウやアゲハチョウが出てくると思いますが、これらの虫はもともと卵から生まれます。そして幼虫イモムシになって、キャベツなどの葉っぱをむしゃむしゃ食べます。でもこのイモムシがそのまま、チョウチョにはなりません。あるとき、イモムシは口の周りから糸をはいて、自分の身体を枝にくくりつけ、自分はどんどん身体を硬くして、まるで木の枝みたいになります。約2～3週間一歩も動かずに過ごしています。この状態になったイモムシを何といいますか？

そう「さなぎ」といいます。なんでじっと固まっているか？それは、イモムシから、大空を飛び回れるチョウチョに変身するために、じっと固まって力を蓄えているのです。このイモムシにならないとあの綺麗なチョウチョは出てこないのです。

人間はチョウチョのようにさなぎにはなりませんが、子どもから大人になるときに、何回か力をためる時期があります。そう、そのひとつが春休みです。毎日遊んで過ごすのではなく、今年1年間をふりかいて、勉強できていなかったことや苦手なところなどをしっかり復習して、4月からきれいなチョウチョになれるようにしましょう！

4月にみなさんの元気な顔と出会えることを楽しみにしています。今年1年間、本当によくがんばりました。多いにほめて終わりたいと思います。